



新地町立福田小学校だより

観瀾 かんらん

No. 4

2022.5.10

文責 校長

今週末は運動会

大型連休が終わり、今週末は子どもたちが楽しみにしている運動会が予定されています。今週はどの学年も運動会の練習が連日行われます。連休疲れと重なり体調を崩してしまわないか心配なところですが、早めに就寝して疲れを翌日に残さないで登校できるよう、ご家庭での健康管理をいつも以上にご配慮いただきたいと思います。

今年度も感染症対策のために例年よりも規模を縮小しての開催となりますが、子どもたちの輝く笑顔、元気いっぱいに頑張る姿をご覧ください。また「親子種目」ではお子さんとの楽しい思い出ができることを願っています。ご協力よろしくお祈りします。



福田地区の宝の 継承に向けて

5月3日に開催された諏訪神社春季例大祭において、4年生が福田十二神楽を披露しました。当日は、本校の子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様、関係機関や新聞記者など大勢の方々が集まりましたが、4年生は堂々と舞を披露し、上手に太鼓を演奏しました。わずかな練習時間だったようですが、驚くほどの上達ぶりです。子どもたちの姿に感動しました。

4年生の取組が、福田地区の“宝”の継承・発展に貢献できるように、学校では今後も神楽の学習を進めていきます。
(裏面に新聞記事を掲載しました。)



こんなお宝も発見

昨年度末に本校の外の物置の整理を行ったのですが、その際に右の写真の看板が物置の隅から見つかりました。文字が薄くて分かりづらいかと思いますが「観瀾校」と右から書かれています。これは社会科資料集「わたしたちのまち新地」に掲載されている写真の実物であると思われます。誰がいつ揮毫したかは不明ですが、旧校舎に掲げられ、今の校舎になってから50数年間、物置にしまわれていたままだったのではないかと思います。

福島県の教育は真弓村出身の目黒重真先生の「これからの時代には教育が必要」との思いから始まり、新地小(観海堂)が県内初の学校として誕生し、その後この福田にも「観瀾校」がつけられました。重真先生の思いが込められたこの看板を、今後校舎のどこかに掲げたいと計画しています。



4年生 福田十二神楽

令和4年5月4日（水）福島民友

令和4年5月4日（水）福島民報

新地 福田十二神楽が復活

新地町福田地区の福田諏訪神社の春の例大祭は三日、同神社で開かれた。約百六十年間伝わる貴重な無形民俗文化財「福田十二神楽」を神社の神楽殿で初披

福田小4年生
十二神楽奉納
新地の諏訪神社例大祭

